

工事仕様書

I 工 事 概 要

1. 工 事 場 所

大分県

2. 敷 地 面 積

m

3. 工事建物の概要

1) 建 物 名 称

(用途：)

2) 構 造 ・ 階 数

造 (一部 造) 地上 階建、地下 階、P・H 階

3) 延 床 面 積

m² ()

4) 付 属 建 物

4. 工 事 種 別

・ 増 築 ・ 改 修 ・ 耐 震 補 強

5. 工 事 内 容

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部建築監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標準」という）により、改修標準に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「標準」という）による

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かないものは、※印の付いたものを適用する

○印と※印の付いた場合は、共に適用する

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準の当該項目、当該図又は当該表を示す

（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す

（5）☐印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）に基づく「環境物品の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達品目における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す

（6）関係法令等の改正により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合にはその対応等について、監督職員と協議すること

（7）形状寸法の単位は特記なきがきりミリメートルとする

10 材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有す（1.4.2）べき品質及び性能を有するものとする

(2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること

③ 安定的な共有が可能であること

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること

(5) 製造業者に関する資料の提出を求める材料

床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、セラミックタイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整剤、防水剤、アルミニウム製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、樹脂製建具（コンクリート系下地及び鉄骨下地）、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引き戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄鉄製ふた

11 環境への配慮

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の1）から4）を満たすものとする

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボードその他の木質建材、2)7樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、7a7b7c7d7e及び7f7g7hを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する

2）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する

3）接着剤は可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する

4）1）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次の通りとする

規制対象外品

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第三種品

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

石綿含有建材

本工事に使用する材料については、石綿を含有しないものとする

12 石綿含有建材の調査

調査

・石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ちあらかじめ関連法令に基づき石綿含有建材の事前調査を行う

貸与資料（ ）

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象 7a7b7c7d7e7f7g7h7i7j7k7l7m7n7o7p7q7r7s7t7u7v7w7x7y7z7aa7ab7ac7ad7ae7af7ag7ah7ai7aj7ak7al7am7an7ao7ap7aq7ar7as7at7au7av7aw7ax7ay7az7ba7bb7bc7bd7be7bf7bg7bh7bi7bj7bk7bl7bm7bn7bo7bp7bq7br7bs7bt7bu7bv7bw7bx7by7bz7ca7cb7cc7cd7ce7cf7cg7ch7ci7cj7ck7cl7cm7cn7co7cp7cq7cr7cs7ct7cu7cv7cw7cx7cy7cz7da7db7dc7dd7de7df7dg7dh7di7dj7dk7dl7dm7dn7do7dp7dq7dr7ds7dt7du7dv7dw7dx7dy7dz7ea7eb7ec7ed7ee7ef7eg7eh7ei7ej7ek7el7em7en7eo7ep7eq7er7es7et7eu7ev7ew7ex7ey7ez7fa7fb7fc7fd7fe7ff7fg7fh7fi7fj7fk7fl7fm7fn7fo7fp7fq7fr7fs7ft7fu7fv7fw7fx7fy7fz7ga7gb7gc7gd7ge7gf7gg7gh7gi7gj7gk7gl7gm7gn7go7gp7gq7gr7gs7gt7gu7gv7gw7gx7gy7gz7ha7hb7hc7hd7he7hf7hg7hh7hi7hj7hk7hl7hm7hn7ho7hp7hq7hr7hs7ht7hu7hv7hw7hx7hy7hz7ia7ib7ic7id7ie7if7ig7ih7ii7ij7ik7il7im7in7io7ip7iq7ir7is7it7iu7iv7iw7ix7iy7iz7ja7jb7jc7jd7je7jf7jg7jh7ji7jj7jk7jl7jm7jn7jo7jp7jq7jr7js7jt7ju7jv7jw7jx7jy7jz7ka7kb7kc7kd7ke7kf7kg7kh7ki7kj7kk7kl7km7kn7ko7kp7kq7kr7ks7kt7ku7kv7kw7kx7ky7kz7la7lb7lc7ld7le7lf7lg7lh7li7lj7lk7ll7lm7ln7lo7lp7lq7lr7ls7lt7lu7lv7lw7lx7ly7lz7ma7mb7mc7md7me7mf7mg7mh7mi7mj7mk7ml7mm7mn7mo7mp7mq7mr7ms7mt7mu7mv7mw7mx7my7mz7na7nb7nc7nd7ne7nf7ng7nh7ni7nj7nk7nl7nm7nn7no7np7nq7nr7ns7nt7nu7nv7nw7nx7ny7nz7oa7ob7oc7od7oe7of7og7oh7oi7oj7ok7ol7om7on7oo7op7oq7or7os7ot7ou7ov7ow7ox7oy7oz7pa7pb7pc7pd7pe7pf7pg7ph7pi7pj7pk7pl7pm7pn7po7pp7pq7pr7ps7pt7pu7pv7pw7px7py7pz7qa7qb7qc7qd7qe7qf7qg7qh7qi7qj7qk7ql7qm7qn7qo7qp7qq7qr7qs7qt7qu7qv7qw7qx7qy7qz7ra7rb7rc7rd7re7rf7rg7rh7ri7rj7rk7rl7rm7rn7ro7rp7rq7rr7rs7rt7ru7rv7rw7rx7ry7rz7sa7sb7sc7sd7se7sf7sg7sh7si7sj7sk7sl7sm7sn7so7sp7sq7sr7ss7st7su7sv7sw7sx7sy7sz7ta7tb7tc7td7te7tf7tg7th7ti7tj7tk7tl7tm7tn7to7tp7tq7tr7ts7tt7tu7tv7tw7tx7ty7tz7ua7ub7uc7ud7ue7uf7ug7uh7ui7uj7uk7ul7um7un7uo7up7uq7ur7us7ut7uu7uv7uw7ux7uy7uz7va7vb7vc7vd7ve7vf7vg7vh7vi7vj7vk7vl7vm7vn7vo7vp7vq7vr7vs7vt7vu7vv7vw7vx7vy7vz7wa7wb7wc7wd7we7wf7wg7wh7wi7wj7wk7wl7wm7wn7wo7wp7wq7wr7ws7wt7wu7wv7ww7wx7wy7wz7xa7xb7xc7xd7xe7xf7xg7xh7xi7xj7xk7xl7xm7xn7xo7xp7xq7xr7xs7xt7xu7xv7xw7xx7xy7xz7ya7yb7yc7yd7ye7yf7yg7yh7yi7yj7yk7yl7ym7yn7yo7yp7yq7yr7ys7yt7yu7yv7yw7yx7yy7yz7za7zb7zc7zd7ze7zf7zg7zh7zi7zj7zk7zl7zm7zn7zo7zp7zq7zr7zs7zt7zu7zv7zw7zx7zy7zz

分析方法

材料名	定性分析	定量分析
	JIS A 1481-1又は-2	JIS A 1481-3又は-4
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取場所 ・ 図示 ・

13 技能士

○印の付いたものを適用する

適用工事種類	技能検定の作業の種類
仮設工事	・ とび作業
防水改修工事	・ アスファルト防水工事業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事業 ・ セメント系防水工事業 ・ 合成ゴムシート防水工事業 ・ FRP防水工事業 ・ 塩化ビニルシート防水工事業 ・ シーリング防水工事業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事業 ・ 左官作業 ・ 内外装板金作業
外壁改修工事	・ 左官作業 ・ タイル張り ・ 建築塗装作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事業 ・ 樹脂接着材注入施工
建具改修工事	・ ビル用サッシ施工 ・ ガラス工事業 ・ 自動ドア施工
内装改修工事	・ 鋼製下地工事業 ・ プラスチック系床仕上げ工事業 ・ ボード仕上げ工事業 ・ 壁装作業 ・ 左官作業 ・ 大工工事業 ・ タイル張り作業 ・ 内外装板金作業
塗装改修工事	・ 建築塗装作業
耐震改修工事	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ コンクリート圧送工事業 ・ 構造物鉄工事業
ブロック、ALC工事	・ コンクリートブロック工事業 ・ ALCパネル施工
石工事	・ 石張り作業
植栽工事	・ 造園工事業

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること

測定はバッシン型採取機器により行う

着工前の測定 ・ 行う

測定対象室 ・ 図示 ・

測定箇所数 ・ 図示 ・

報告の様式等については、現場説明書による

14 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること

測定はバッシン型採取機器により行う

着工前の測定 ・ 行う

測定対象室 ・ 図示 ・

測定箇所数 ・ 図示 ・

報告の様式等については、現場説明書による

15 完成図等

※ 現場説明書による

16 設計G L

※図示 ・設計G L＝現状G L

17 既存建物との取合い

工事中、取合い部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は原形に復する

18 工事写真

※ 標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による

『営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

19 近隣との折衝

・ 住民または近隣住民への説明会の開催 ・ ピラ等による周知 ・

20 文化財その他埋蔵物

文化財保護法第94条による届出対象区域

・ 対象区域内 ・ 対象区域外

上記対象区域内における試掘調査に必要な資機材及び労務等を提供する

21 施工調査

施工数量調査

調査項目 ・ 防水改修 ・ 外壁改修 ・

調査範囲 ・ 図示 ・ 工事範囲 ・

調査方法 ・ 打診及び目視による ・

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策

2 足場等

3 既存部分の養生

4 仮設間仕切り

5 監督職員事務所

6 工事用水

7 工事用電力

土工事

1. 埋戻し及び盛土

2. 建設発生土の処理

・ 防音パネル ・ 防音シート

防音パネル等を取付ける足場等の設置範囲

・

外部足場 ・ 設置する

・ 施工に必要な範囲 ・

・ 設置しない

防護シート ・ 設置する

・ 施工に必要な範囲 ・

・ 設置しない

内部足場 ・ 脚立、足場板等 ・

材料・撤去材等の運搬方法

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

既存部分の養生 ・ 行う ・ 行わない

養生方法 ※ ビニルシート、合板等による

・

既存家具、既存設備等の養生

・ 標準仕様書 2.3.1(3)による ・

開口部の養生 ・ 行う ・ 行わない

養生方法 ・ 合板張りによる ・

設置範囲 ・ 図示 ・

固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない ・

仮設間仕切り等の種別

種別	材質	仕上
・ A種	・ せつこうボード厚9.5両面張り グラケル充填厚さ() ・ 合板厚9片面張り グラケル充填厚さ()	・ 片面塗装
・ B種	・ せつこうボード厚9.5片面張り ・ 合板厚9片面張り ・ せつこうボード厚9.5(内表面)・合板厚9(外表面)	・ 片面塗装
※ C種	・ シート張り	—
・ 仮設扉	・ 合板張り木製扉程度 ・	・

※設けない ・ 設ける

面積規模 (・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ 65 ・ 100) m² 程度

備品

・ 机 () ・ いす () ・ 打ち合わせ机 ()

() 内は数量

・ 書棚 () ・ パソコン ()

・ プリンター () ・ 電話 () ・ FAX ()

・ ()

監督職員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない

構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない

年 度

設計年月

工事名

R8.5

建築士法第20条第1項に基づく表示

図 面 名 称

縮 尺

N o. _____

改修特記仕様書（その1）

3

防水改修工事

1

共通事項

2

降雨等に対する養生方法（とい共）

3

既存防水の処理

4

既存下地の処理

5

アスファルト防水

改修用ドレン（POAS、POASI、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合）
取付方法等は、ルーフィング類の製造所の仕様による

※ 改修標仕3.1.3(5) (7)～(9)による

既存保護層の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）
・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X）
・ 行わない
※ 既存下地の処理は、改修標準仕様書3.2.6（2）から（6）までによる
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示 ・
POS工法及びPOS1工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上がり部等の処理
※ 改修標仕3.2.6(4) (㏽) (㏽)①～③による
・ 補修（ ）
設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ周リ、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する ・ 図示

新規防水層の種類（既存：屋根保護防水）
[3.3.2～5]

工法	種別	施工箇所	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1 ・ A-3 ・ A-2		・ ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上 ・
・ PIB	・ B-1 ・ B-3 ・ B-2		
・ P2A1	・ A1-1 ・ A1-3 ・ A1-2		・ フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・
・ PIB1	・ B1-1 ・ B1-3		
・ TIB1	・ B1-2		

断熱材㏽の種類及び厚さ
（種類） JIS A 9521Iに基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材bA（スチ層付き）
（厚さ） ・ 25mm ・ 50mm
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標仕〔表3.3.3〕から〔表3.3.9〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標仕〔表3.3.3〕から〔表3.3.4〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下80mm以上 ・
床タイル張り ※ 水下60mm以上 ・
立上がり部の保護方法
・ 乾式保護材
窯業系パネルⅠ類 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm
（品質・性能・試験方法） 建築材料等品質性能表による
・ れんがが押え（ ・ JIS R 1250 ・ ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内）

新設防水層の種類（既存：屋根露出防水）

工法	種別	施工箇所	断熱材㏽	備考
・ M4C	・ C-1 ・ C-3 ・ C-2 ・ C-4			
・ M3D	・ D-1 ・ D-3			
・ POD	・ D-2 ・ D-4			
・ POD1	・ D1-1		改修標仕3.3.2(9)（種類） ・	
・ M3D1			（厚さ） ・ 25mm ・	
・ M4D1	・ D1-2			

仕上塗料
種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
使用量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
高日射反射率防水の適用㏽ ・ あり ・ なし
M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1における脱気装置及び改修用ドレン
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標仕〔表3.3.3〕から〔表3.3.9〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標仕〔表3.3.3〕から〔表3.3.9〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

6

改質アスファルトシート防水

絶縁断熱工法のルーフトドレン周リ及び立上がり部周辺の断熱材の張りじまい位置
・ 図示 ・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・ （個）
防水層の種類（屋内防水）

工法	種別	施工箇所	保護層
・ P1E	・ E-1		・ 設ける（ ・ 図示 ・ ）
・ P2E	・ E-2		・ 設けない

・ E-1の工程3を行う部位 ※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・
立上がり部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 ・
屋根排水溝 ・ 図示 ・
新設防水層の種類（既存：屋根露出防水）
[3.4.2][3.4.3]

工法	種別	施工箇所	断熱材㏽	備考
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-J2 ・ AS-T2			
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-J1 ・ AS-T4 ・ AS-J3			
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-J1 ・ AS-T4 ・ AS-J3			
・ M3ASI	・ AS1-T1		改修標仕3.3.2(9)（種類） ・	
・ M4ASI	・ AS1-J1		（厚さ） ・ 25mm ・	
・ POASI				

仕上塗料
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
使用量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
高日射反射率防水の適用㏽ ・ あり ・ なし
M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI、POASIにおける脱気装置及び改修用ドレン
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
M3ASI、M4ASI、POASIにおける防湿層 ・ 設ける ・ 設けない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標仕〔表3.4.1〕から〔表3.4.3〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標仕〔表3.4.1〕から〔表3.4.3〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標仕〔表3.4.1〕から〔表3.4.3〕による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	・ R種	mm以上

立上がり部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 ・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※ 改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・ （個）

7

合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種類
[3.5.2～4][表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材㏽	備考
・ POS	・ S-F1 ・ S-M1			
・ S4S	・ S-F2 ・ S-M2 ・ S-M3			
・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2			
・ M4S	・ S-M1 ・ S-M3 ・ S-M2			
・ POS1	・ S1-F1		改修標仕3.3.2(3) (㏽) (b)（種類） ・	
・ S3S1	・ S1-F2		（厚さ） ・ 25mm ・ 50mm ・	
・ S4S1				
・ M4S1	・ S1-M1 ・ S1-M2		改修標仕3.3.2(3) (㏽) (a)（種類） ・	
			（厚さ） ・ 25mm ・ 50mm ・	

仕上塗料
種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
使用量 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・
高日射反射率防水の適用㏽ ・ あり ・ なし
POS、S4S、S3S、M4S、POS1、S3S1、S4S1、M4S1における脱気装置
・ 設ける ・ 設けない
POS、S4S、POS1、S3S1、S4S1、M4S1における改修用ドレン
・ 設ける ・ 設けない
S1-F1、S1-F2、S1-M1、S1-M2における防湿用フィルム
・ 設ける ・ 設けない

8

塗膜防水

新設防水層の種類
[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗材	備考
			種類	使用量
・ P0X	※ X-1		※ 主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様
	・ X-2	・	・	
・				
・ L4X	・ X-1		※ 主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様
	※ X-2	・	・	
	・			

高日射反射率防水の適用㏽ ・ あり ・ なし
ウレタン系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様
新設防水層の種類

工法	種別	施工箇所	各工程数及び工程の使用量	保護層
・ P1Y	・ Y-1		・ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	・ Y-2		・ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 設ける ・ 設けない

9

シーリング

シーリング改修工法の種類
[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標仕〔表3.7.1〕による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ・
シーリング材の接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

10

とい

たてどい金物
材種 ※ 改修標仕〔表3.8.2〕による（溶融垂れつきを行ったもの）
・ ステンレス製
形状 ・ 市販品（とい径100以下）
・ 25×4.5mm以上（とい径100を超えるもの）
取付間隔 ※ 改修標仕〔表3.8.2〕による
・
足金物
材種 ※ 改修標仕〔表3.8.2〕による（溶融垂れつきを行ったもの）
・
形状 ・ 市販品
・
取付間隔 ※ 改修標仕〔表3.8.2〕による
・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示 ・
銅管製といの防露巻き ・ 改修標仕〔表3.8.4〕による ・
ルーフトドレンの材種その他

種別	呼び	施工箇所	材種
・ ろく屋根用	・ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125	
たて形Ⅰ形	・	・ 150 ・	
・ ろく屋根用	・ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125	
模形Ⅰ形	・	・ 150 ・	
・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・ 差込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100	
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・ 差込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100	

たてどい金物の取付け ・ 図示 ・
ルーフトドレンの取付け
※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・
[3.9.2、3]

11

アルミニウム製笠木

既存笠木等の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ）
・ 行わない
下地補修の工法
・ 図示 ・
板材折曲げ形の笠木の取付け方法
・ 図示 ・
棟上避雷導体システム ・ なし ・ あり
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

年度

設計年月

工事名

R8.5

建築士法第20条第1項に基づく表示

図面名称

改修特記仕様書（その2）

縮尺

No. _____

5 建具 改修 工事	1 改修工法	[5. 1. 3]		8 鋼製軽量建具	断熱ﾄﾞﾌﾞ、断熱ｼｬｯﾀｰ [㊦] ・断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 材料 スﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※ HL程度 ・ No. 2B ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ・ 改修標仕[表5. 4. 2]による ・ mm 使用箇所（ ・ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ・ 建具表による ・ 性能値等 [5. 2. 2] [5. 5. 2～4] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 防音ﾄﾞﾌﾞ、防音ｼｬｯﾀｰ ・ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 断熱ﾄﾞﾌﾞ、断熱ｼｬｯﾀｰ [㊦] ・ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 材料 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ｾﾐ皮膜鋼板 ・ ｶﾅｰ鋼板 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ・ HL程度 ・ No. 2B ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ・ 改修標仕[表5. 5. 1]による ・ mm 使用箇所（ ・ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ・ 建具表による ・ 性能値等 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ・ S-5（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ・ S-6（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） 防音ﾄﾞﾌﾞ、防音ｼｬｯﾀｰ ・ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 断熱ﾄﾞﾌﾞ、断熱ｼｬｯﾀｰ [㊦] ・ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 耐震ﾄﾞﾌﾞ ・ 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 材料 スﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※ HL 程度 ・ No. 2B ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ ・ 工法 スﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（ ・ a角 ・ b角 ・ c角） 建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 [5. 7. 2～4] 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・ 普通合板 [㊦] 表面の樹種 生地、透明塗料塗リ（ ・ ｸﾗﾌﾞ程度 ） 不透明塗料塗リ（ ・ しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類） ・ 天然木 樹種名（ ） 化粧合板 [㊦] 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類） ・ 特殊加工 化粧加工の方法（ ・ ﾎｰﾎﾞｰﾙｲﾝ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・ 塗装） 化粧合板 [㊦] 表面性能（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類） 表面板の厚さ ・ 改修標仕[表16. 7. 6]による ・ かまち戸 かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ・ 36mm ・ 建具表による ・ ・ ふすま 張りの種別（ ・ I 型 ・ II 型） 上張り（押入等の裏側以外） ・ 鳥の子 ・ 鳥の子又はﾋﾞﾆｰﾙ壁紙程度 縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(ｸﾚｼｬﾝｸﾞｰ塗装) 見込み寸法 ・ 19. 5mm ・ 建具表による ・ ・ 戸ふすま 表面板の仕上げ ・ 建具表による ・ 見込み寸法 ・ 30mm ・ 建具表による ・ ・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ 建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ ・ マスターキー ・ 製作する（ ・ 新規 ・ 既存にあわせる） [5. 8. 2] [表5. 8. 1] ・ 鍵の製作本数 ※ 各室3本1組（室名札付き） ・ ・ シリンダー箱錠 ・ ｾﾞｯﾊﾟｰﾄﾞﾙ 材質 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ 黄銅 座金 ・ 丸座 ・ 長座 ・ 握り玉 材質 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ 本締り錠（品質、性能） 建築材料等品質性能表による ・ 空錠 ・ ｾﾞｯﾊﾟｰﾄﾞﾙ 材質 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ 黄銅 座金 ・ 丸座 ・ 長座 ・ 握り玉 材質 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ グレモン錠 ｾﾞｯﾊﾟｰﾄﾞﾙ 材質 ・ 亜鉛合金 ・ ステンレス 製造所 ・ 図示 ・ ピボットヒンジ ｶﾊﾞｰ部の材質 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ 亜鉛合金 ・ フロアヒンジ ・ Grade1 ・ Grade2 ｶﾊﾞｰ部の材質 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ ・ ヒンジクローザー（T番型） 材質 ・ 鋼(焼付け塗装) ・ ・ ヒンジクローザー（ﾋﾞｯｸﾞﾄﾞ型） 材質 ・ 鋼(焼付け塗装) ・ ・ ドアクローザー ・ Grade1 ・ Grade2 材質 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・ ・ 押棒、押板 材質 ・ スﾃﾝﾚｽ ・ 黄銅 ・ 合成樹脂																			
	2 防火戸	[5. 1. 4]			9 ステンレス製建具	新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ・ 図示 ・ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ・ 図示 ・ 防火戸の指定 ・ 指定する 適用箇所（ ・ 建具表による ・ ） ・ 指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とﾋｳｽﾞ 装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる（ ・ 建具表による ・ ） ・ 連動させない 性能等級 [5. 2. 2～5] [表5. 2. 1、2] ・ 外部に面する建具の種別（コンクリート系下地及び鉄骨下地） ・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 外部に面する建具の種別（木下地） ・ D種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ E種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 上記によらない場合 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 防音ﾄﾞﾌﾞ、防音ｼｬｯﾀｰ ・ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 断熱ﾄﾞﾌﾞ、断熱ｼｬｯﾀｰ [㊦] ・ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 耐震ﾄﾞﾌﾞ ・ 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 表面処理の種別 外部に面する建具 種別 ・ BB-1 ・ BB-2(改修標仕[表5. 2. 2]) 着色 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 屋内に使用する建具 種別 ・ BC-1 ・ BB-2(改修標仕[表5. 2. 2]) 着色 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 材料 スﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※ HL程度 ・ No. 2B ・ 結露水の処理方法 処理方式 ・ 水貯め式 ・ 排水式 設置箇所 ・ 建具表による ・ 図示 水切り、ぜん板 ・ 建具表による ・ 図示																		
	3 防犯建物部品	[5. 1. 7]				10 木製建具	5 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3] 種類 材質 線径 網目 ・ 防虫網 ※ 合成樹脂製 ※ 0. 25mm以上 ※ 16～18ﾒｯｼｭ ・ ガﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ ・ スﾃﾝﾚｽ(SUS316)製 ・ ・ 防鳥網 ・ スﾃﾝﾚｽ(SUS304)線材 ・ 1. 5mm ・ 網目寸法15mm 性能等級 [5. 2. 2] [5. 3. 2～5] [表5. 3. 1] ・ 外部に面する建具の種別（コンクリート系下地及び鉄骨下地） ・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 外部に面する建具の種別（木下地） ・ D種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ E種（建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 上記によらない場合 耐風圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 防音ﾄﾞﾌﾞ、防音ｼｬｯﾀｰ ・ 遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 断熱ﾄﾞﾌﾞ、断熱ｼｬｯﾀｰ [㊦] ・ 断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級（ ・ ） 材料 ガラス ・ 建具表による ※ 複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL程度 ・ No. 2B ・ 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 表面色 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 水切り、ぜん板 ・ 建具表による ・ 図示																	
	4 アルミニウム製建具	[5. 2. 2～5] [表5. 2. 1、2]					11 建具用金物	性能値等 [5. 2. 2] [5. 4. 2～5] [表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ・ S-5（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ・ S-6（建具符号 ・ 全て ・ 建具表による ・ ） 防音ﾄﾞﾌﾞ、防音ｼｬｯﾀｰ ・ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・ 建具表による ・ ）																
	6 樹脂製建具	[5. 2. 2] [5. 3. 2～5] [表5. 3. 1]						安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板																
	7 鋼製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2～5] [表5. 4. 2]						12 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2、3] 戸の開閉方式 ・ 建具表による ・ ・ 引き戸駆動装置 ・ 標準仕様書[表5. 9. 1]による 防錆（ ・ 適用する ・ 適用しない） ・ 以下による 種類・開閉方法（ ） 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性(ﾀｲﾑ)（ ） 防錆（ ） 電源（ ） ・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ・ 標準仕様書[表5. 9. 2]による 防錆（ ・ 適用する ・ 適用しない） ・ 以下による 種類・開閉方法（ ） 耐電圧（ ） 温度上昇（ ） 耐久性(ﾀｲﾑ)（ ） 防錆（ ） 電源（ ） 引き戸用検出装装置の種類 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ 押しｶﾞﾗｽｽｲｯﾁ ・ ｸﾏｽｲｯﾁ（ ・ 無線式 ・ 光電式） ・ 車椅子使用者用便房ｽｲｯﾁ（ ・ 大型押しｶﾞﾗｽｽｲｯﾁ ・ 非接触ｽｲｯﾁ） 凍結防止措置 ・ 行わない ・ 行う 駆動力 ・ 電気式又は電動油圧式 ・ 電源 ・ 単相100V(過電流保護装置付) ・ 補助センサー ・ 安全光線ｽｲｯﾁ1組 ・ 各開閉装置ごとに補助センサーを設ける 性能値等 [5. 10. 3] ・ 改修標仕[表5. 10. 1]による ・ 以下による 手動開き力（ ） 手動閉じ力（ ） 閉じ速度の調整（ ） 制動区間（ ） 開閉繰返し（ ） 耐衝撃性（ ） ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ		
	名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																					
	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																					
	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																					
	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																							
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
8 ガラス	[5. 14. 2～4]		13 自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3] 性能値等 [5. 10. 3] ・ 改修標仕[表5. 10. 1]による ・ 以下による 手動開き力（ ） 手動閉じ力（ ） 閉じ速度の調整（ ） 制動区間（ ） 開閉繰返し（ ） 耐衝撃性（ ） ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称			耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ					
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
9 オーバーヘッドドア	[5. 13. 2、3]		14 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
10 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		15 軽量シャッター [5. 12. 2～4] 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板																					
11 建具用金物	[5. 8. 2] [表5. 8. 1]		16 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
12 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		17 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
13 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		18 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
14 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		19 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
15 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		20 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 開閉形式 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用） [5. 12. 2～4] 耐風圧強度（ ） Pa 安全装置 電動ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置（設置箇所 ・ 建具表による ・ ） スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロックンギ形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール、座板の材質 ・ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								
16 ガラスフィルム	[5. 19. 2～4]		21 重量シャッター [5. 11. 2、3] ｼｬｯﾀｰの種類 [5. 11. 2、3] <table><tr><th>名称</th><th>耐風圧強度</th><th>開閉方式の種類</th></tr><tr><td>・ 管理ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td>() Pa</td><td>・ 電動式（手動併用） ・ 手動式</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙ｼｬｯﾀｰ</td><td></td><td></td></tr></table> 安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置、急降下停止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置 （設置箇所 ・ 建具表による ・ ） 管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びｼｬｯﾀｰケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ・ 三相200V 0. 75kw以下（過電流保護装置付） リモコンの有無 ・ なし ・ あり（リモコンの数 個） ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ スﾃﾝﾚｽ鋼板 SUS304、SUS4		名称	耐風圧強度	開閉方式の種類	・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式	・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ			・ 防煙ｼｬｯﾀｰ							
名称	耐風圧強度	開閉方式の種類																						
・ 管理ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ	() Pa	・ 電動式（手動併用） ・ 手動式																						
・ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ																								
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ																								

6内装改修工事

1改修範囲

既存間仕切り壁の撤去に伴う当該室の取合う天井、壁及び床の改修範囲
・壁面より両面100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の補修
・既存のまま・図示

2既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去
・仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示・除去範囲すべて）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法・目荒らし工法
既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修表紙4章外装改修工事による

3既存壁の撤去及び下地補修

間仕切り壁撤去に伴うほかの構造体の補修
・改修標仕〔4.3.10〕によるモルタル塗り（全塗り厚25mmを超える場合の処置・図示・）
・

4製材

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
表施工箇所樹種寸法(mm)等級形状含水率保存処理材面の品質間伐材の適用
表施工箇所樹種寸法(mm)等級形状含水率保存処理材面の品質間伐材の適用
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
表施工箇所樹種寸法(mm)等級形状含水率保存処理材面の品質間伐材の適用
見え掛り面見え掛り面以外
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
表施工箇所樹種寸法(mm)等級形状含水率保存処理材面の品質間伐材の適用
・JAS 1083 (製材) 以外の製材
表施工箇所樹種寸法(mm)造作材の材面の品質防虫処理含水率間伐材の適用
・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材
表施工箇所樹種寸法(mm)見付け材面数見付け材面の品質間伐材の適用
・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材
表施工箇所化粧薄板の樹種芯材の樹種寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面数見付け材面の品質間伐材の適用
・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材
表施工箇所樹種寸法(mm)見付け材面の品質含水率間伐材の適用
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材
表施工箇所化粧薄板の樹種芯材の樹種寸法(mm)化粧薄板の厚さ(mm)見付け材面の品質含水率間伐材の適用
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
表施工箇所厚さ(mm)表面の化粧加工防虫処理間伐材の適用

5合板等

・JAS 0701以外の造作用単板積層材
表施工箇所厚さ(mm)表面の化粧加工防虫処理含水率間伐材の適用
・JAS 3079に基づく直交集成板(CLT)
表施工箇所品名曲げ性能(強度等級)種別接着性能(使用環境)樹種寸法(mm)間伐材の適用
・「合板の日本農林規格」による普通合板
表施工箇所厚さ(mm)単板の樹種名接着の程度板面の品質防虫処理間伐材の適用
・「合板の日本農林規格」による構造用合板
表施工箇所厚さ(mm)等級単板の樹種名板面の品質防虫処理強度等級間伐材の適用
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板
表施工箇所厚さ(mm)単板の樹種名接着の程度防虫処理間伐材の適用
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
表施工箇所厚さ(mm)化粧板に使用する単板の樹種名接着の程度防虫処理
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
表施工箇所厚さ(mm)接着の程度表面性能化粧加工の方法防虫処理
・パーティクルボード
表施工箇所厚さ(mm)表表面の状態による区分曲げ強さによる区分耐水性による区分難燃性による区分
・JAS 0306に基づく構造用パネル
表施工箇所厚さ(mm)表表面の状態
・MDF
表施工箇所厚さ(mm)表表面の状態による区分曲げ強さによる区分接着剤による区分難燃性による区分
造作材の化粧面の釘打ち
・隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し
諸金物
・かすがい、座金、箱金物、短冊金物
標準仕様書(表12.2.3～表12.2.5)に示す程度の市販品、表14.2.2のF種程度
・形状()寸法()材質()
・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位()
・薬液の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位()
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
適用部位()
・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位()
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位()

6接合具等

7防腐・防蟻処理

8内部間仕切軸組及び床組

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
・杉又は松
・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
・杉又は松
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
・吊元枠、水掛の下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・縁甲板及びよりかまちに用いる木材の樹種
・※ ひのき（製材を用いる場合）
・壁銅線、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名
※ 杉又は松（製材を用いる場合）
野縁等の種類
屋外（※ 25形・19形）屋内（※ 19形・25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受け、吊り板及びインターの間隔・900程度
周辺部の端からの間隔・図示
野縁の間隔・300程度
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
既存の埋込インサート・使用する・使用しない
・あと施工アンカーの引き抜き試験
試験箇所数・屋内の場合、当該階において3箇所
確認強度・吊り板の受け等の間隔が900mm以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m2以内の天井の場合は400N程度
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法・図示
・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法・図示
・天井のふとところが3.0mを超える場合
補強方法・図示
・屋内外への耐震補強
・行う・行わない
補強箇所・図示
補強方法・図示
スタッド、ランナーの種類
※ 改修標仕〔6.7.3〕によるスタッドの高さによる区分に応じた種類・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合・図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強・標準仕様書〔14.5.4〕(5)による

9窓、出入口その他

10床板張り

11壁及び天井下地

12軽量鉄骨天井下地

13軽量鉄骨壁下地

14ビニル床シート

15ビニル床タイル

16特殊機能床材

17ビニル幅木

18カーベット敷き

19合成樹脂塗床

20フローリング張り

21畳敷き

22せつこうボード、その他ボード及び合板張り

種別・A種・B種・C種
・D種（畳床・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書(表12.6.1)による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン）
木質系セメント板
種類厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板(HW)
・中質木毛セメント板(MW)
・普通木毛セメント板(NW)
・硬質木片セメント板(HF)
・普通木片セメント板(MF)
繊維強化セメント板
種類厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板(タイプ2)
普通ボード0.8FK
・化粧けい酸カルシウム板(タイプ2)
(目地)
・目透しシーリング工法
・ジョイント工法（・F製・樹脂製）
(厚さ)
・6(不燃)
・8(不燃)
(仕上)
・UV塗装
・シート張り
・突板張り
・一般塗装
火山性ガラス質複層板
種類厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板
種類・図示
繊維板
種類厚さ(mm)、規格等
・ミディアムファイバーボード(MDF)
・ハードボード
・スタンダードボード(無処理)
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・内装用化粧ハードボード(DI)
・フェニックスボード(処理)
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・外装用化粧ハードボード
・インシュレーションボード
・A級インシュレーションボード(A-1B)
・天井仕上げ材
・内装仕上げ材

年度

設計年月

工事名

R8.5

建築士法第20条第1項に基づく表示

図面名称

縮尺

No.

6 内装改修工事（続き）	20 せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り （続き）	パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等			
		・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18					
		・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・					
		パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等			
		・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18					
		・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・					
		吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等			
		・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・					
		・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・					
		せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等			
	21 壁紙張り	・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）			
		合板類		種類		厚さ（mm）、規格等			
		・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・					
		・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・					
		・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・					
		その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等			
		・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・					
		・							
		せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による							
		遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない							
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・							
せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）					
合板類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・							
・									
せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による									
遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない									
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・							
せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）					
合板類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・							
・									
せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による									
遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない									
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・							
せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）					
合板類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・							
・									
せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による									
遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない									
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・							
せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）					
合板類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・							
・									
せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による									
遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない									
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （1号） ・ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 吸音 ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （32K）		・ 図示 ・ 25 ・ ・ 25（ ^{ｸﾞﾗｽｳｰﾙ} 包み） ・							
せっこうボード		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-R） ・ ^{ｼｰｼﾞﾝｸﾞ} せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-S） ・ 強化せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-F） ・ 化粧せっこう ^{ﾎﾞｰﾄﾞ} （GB-D）		・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃） ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃） ・ ・ 木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（ ・ 柾目 ・ 板目）専用下地材あり ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様 9.5（準不燃）		・ 9.5 ・ 9.5（不燃） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（ ^{ﾄﾗﾊﾞｰﾝ} 模様）					
合板類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 普通合板 [㊦] 表板の樹種名（ ） 板面品質（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 天然化粧化粧板 [㊦] 化粧板の樹種名（ ） 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
・ 特殊加工化粧板 化粧加工の方法 ・ ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} ・ ^{ﾌﾟﾘﾝﾄ} ・ 塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない		・ 図示 ・							
その他ボード類		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ^{ﾌﾗﾐﾝ} 樹脂化粧板		・ JIS K 6903Iによる ・ 1.2 ・							
・									
せっこうボードの下地 ・ 図示 せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ・ 仕上げ表による									
遮音シール材 ・ 適用する ・ アクリル系又はウレタン系シーリング材 ・ ジョイコンパウンド（JIS A 6914） ・ 適用しない									
合板類の張付け ・ A種 ・ B種									
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
パーティクルボード [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ 単板張り ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）		・ 図示 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18							
・ 化粧 ^{ﾊﾞｰﾅｲｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ} ・ 単板 ^{ｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DV） ・ ^{ﾌﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ} （DO） ・ 塗装（DC）		・ 図示 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・							
吸音材 [㊦]		種類		厚さ（mm）、規格等					
・ ロックウール化粧吸音板（DR） ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ		・ 9（難燃） ・ 12（難燃） ・ 15（不燃） ・							
・ ロックウール吸音 ^{ﾎﾞｰﾄ}									

7
塗装
改修
工事

1 材料

防火材料
・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする
 箇所（
）

2 下地調整

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
・ 塗替え面積30% ・ 図示 ・
・ 既存錆止め塗料の鉛含有調査（箇所）
下地調整（新規） ・ 標準仕様書18.2.1素地ごしらえによる
下地調整（塗替え）

下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修
木部	※ R種 ・	—
鉄鋼面	※ R種 ・	—
垂鉛めっき面	※ R種 ・	—
垂鉛めっき面（鋼製建具等）	・ R種 ・	—
モルタル、フラスコ面	※ R種 ・	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※ R種 ・	・ 行う ・ 行わない
押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面（DP）	・ R種 ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ R種 ・	

3 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別
[7.4.2][7.4.3]

塗装面		塗料の種類	工程の種類
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	※ C種 ・
		新規見え掛り	※ As種 ※ A種 ・
		新規見え隠れ	※ As種 ※ B種 ・
	EP-G	塗替え	・ As種 ※ Bs種 ※ C種 ・
		新規見え掛り	・ As種 ※ Bs種 ※ A種 ・
		新規見え隠れ	・ As種 ※ Bs種 ※ B種 ・
垂鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	・ Az種 ※ Bz種 ※ C種 ・
		新規鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種 ・ A種 ・
	EP-G	塗替え	※ Cz種 ※ C種 ・
		新規鋼製建具等	※ Cz種 ・ A種 ・

4 塗装

塗装の種類	塗装面	工程	
・ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） ・ 1種 ・ 2種	木部屋外	※ B種 ・	※ A種 ・
	木部屋内	※ B種 ・	※ B種 ・
	鉄鋼面	※ B種 ・	※ B種 ・ A種
	垂鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※ A種 ・	※ B種 ・
	垂鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※ B種 ・	※ B種 ・
・ グリッド塗り（GL）		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
・ フル酸樹脂エポキシ塗り（FE）		—	—
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
・ 耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	・	・ A種 ・
	上塗り等級	級	
	垂鉛めっき面	・	・ A種 ・
	上塗り等級	級	
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種
・ つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※ B種 ・	・ A種 ※ B種
	屋内の木部	※ B種 ・	※ A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・	・ A種 ※ B種
	屋内の垂鉛めっき面	※ A種 ・	※ A種 ・
・ 合成樹脂エポキシペイント塗り（EP）		※ B種 ・	・ A種 ※ B種
・ 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り（EP-T）		・ B種 ・	・ A種 ・ B種
・ アクリル樹脂ニス塗り（UC）		※ B種 ・ A種	・ A種 ※ B種
・ ビンイラッシュ塗り（OS）		—	—
・ 木材保護塗料塗り（WP）		・ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種

つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り（コンクリート面、モルタル、フラスコ面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗り替えの場合のしきり止め
※ 改修仕様表7.9.1の工程1の下塗りをしきり止めシーラとする
・
合成樹脂エポキシペイント塗りの塗替えの場合のしきり止め
・ 改修仕様表7.10.1の工程1の下塗りをしきり止めシーラとする
・
・ 高日射反射率塗料塗り
[7.4.2.2] ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種

工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による

5 フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート面保護工法
下塗り材 水性 浸透性吸水防止材
上塗り材 ・ 水性フッ素樹脂クリアー ・ 水性フッ素樹脂カラークリアー

6 焼付塗装

素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位
・ アルミ	・ フッ素樹脂	・ ツリッド			
	・ アクリル樹脂	・ マリック			
	・ アクリル樹脂				
・ ステンレス	・ フッ素樹脂	・ ツリッド			
	・ アクリル樹脂	・ マリック			
	・ アクリル樹脂				
・ 亜鉛めっき鋼板	・ フッ素樹脂	・ ツリッド			
	・ アクリル樹脂	・ マリック			
	・ アクリル樹脂				

9 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事
[9.1.1、3～5]

調査
・ 石綿含有建材の事前調査
・ 石綿粉じん濃度測定
 工事着手前に先立ちあらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
 資与資料（
）
・ 分析による石綿含有建材の調査
 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリノタイル、クロンダイト、トレモライト

分析方法

材 料 名	定性分析	定量分析
	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取場所 ・ 図示 ・

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数
測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
測定2		調査対象室外部の付近	計 点
測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
測定4		セキリティゾーン入口	計 点
測定5		集じん排気装置の排出口	出口風速1m/s以下の位置
測定6		・ 施行区画周辺 ・ 敷地境界	計 点
測定7	処理作業後（閉養生中）	処理作業室内	計 点
測定8	処理作業後	処理作業室内	計 点
測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点

調査方法
・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	サンプル径（mm）	試料の吸流量（L/min）	試料の吸時間（min）
・ 測定4 ・ 測定5	25	5	30
・			
・	47	10	120
・	47	10	240
・			

・ 自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・ 測定4	粉じん相対濃度計（ゲージ）粉じん計）、ハイパースペクトル、繊維状粒子自動測定器
・ 測定5	（リファクタインモーター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

石綿含有吹付建材の処理
・ 石綿含有吹付材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・
 除去方法 ※ 改修仕様 [9.1.3] (2) (7) による ・
 除去した石綿含有吹付材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固化
 除去した石綿含有吹付材等の処分
 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・ 石綿含有保温材等（石綿含有アセチレン板第二種含む）の除去
 除去対象範囲 ・ 図示 ・
 除去方法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし
 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ・ 湿潤化 ・ 固化
 除去した石綿含有吹付材等の処分
 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

処理を行う石綿含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
・ 石綿含有保温材		・ 図示 ・
・ 石綿含有耐火被覆板		・ 図示 ・
・ 石綿含有断熱材		・ 図示 ・

2 煙突用ライニング材撤去
（高圧洗浄除去工法）

1) 最下部灰出し口部分及び煙突頂部の隔離養生を行う
最下部は洗浄水を受けるために防水シートを設置する
2) 頂部より高圧洗浄機具を挿入し、煙突用ライニング材を湿潤化させながら撤去作業を行う
3) 撤去後は撤去面に飛散防止材を吹付ける
4) 最下部で高圧洗浄機具により撤去が困難な場所は手はつりにて撤去する
5) 石綿を含んだ洗浄水は固化した上で密封処理及び梱包処理を行う
6) セキュリティゾーン等の養生材を適切に除去する
撤去後の撤去面の調査は適切に行う
石綿の処理は、関係法令に基づき適切に処理する
セキリティゾーンは、関係法令に基づき適切に設置する
煙突の頂部、最下部の撤去コンクリートは石綿が付着したものととして適切に処分する

3 外断熱改修工事
[9.2.2～4]

断熱材の種類 ・
断熱材の厚さ（mm） ・
外装材

種類	防火性能	備考

既存外壁の処置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 第4章外壁改修工事による
工法 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による
通気層の有無 ・ あり（ mm） ・ なし
外装材の外壁への取付け ・ 図示 ・
笠木の施工 ・ 第3章アルミ製笠木による

4 断熱・防露改修工事
[9.4.2～4]

・ 断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・ 厚さ（mm） ・
施工場所 ・
・ 断熱材現場発泡工法
断熱材 ・ A種1 ・ A種1H ・
吹付厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 ・
施工箇所 ・ 図示 ・ 窓周りの断熱材補修部分、バルコニー周りの床板等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ 断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・ 厚さ（mm） ・
施工場所 ・
断熱材にせっこうボード等を張付けたパネル ・ 使用する

植栽基盤及び材料
・ 屋上軽量緑化システム
芝及び地被類の種類等 ・ 図示 ・
見切材、舗装材、排水孔、バルコニー材等 ・ 図示 ・
工法 1章 適用区分による風圧力の（ ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・ 設置する 種類 ・ ・
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない
新植した芝及び地被類の枯保証の期間 ※ 引渡しの日から1年

6 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲 構内の歩行者用通路
[9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示 ・
路床の材料

種別	材料	厚さ（mm）
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示 ・
・ 凍上抑制層	・ 再生グラジュラ、G ・ クラッシュ ・ 切込み砂利 ・	・ 図示 ・
・ フィルム層	・ 砂 ・	・ 図示 ・

路床安定処理
工法 ・ 置き換え工法
 ・ 安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類 ・ 普通ポットランドセメント ・ 高炉セメントB種、G ・ フライアッシュセメントB種
 ・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1号） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1号）
添加量 kg/m2（目標CBR ・ 3以上 ・ ）
目標CBRを満足する添付量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60kg/m2以上 ・
厚さ（mm） ・ 0.5～1.0 ・
引張強度 ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・
透水係数 ・ 1.5×10cm/sec以上 ・

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
路床土の支持力（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示 ・

路盤材料（改修仕様表9.7.3による種別）
・ クラッシュ ・ 再生グラジュラ、G ・ 粒度調整砕石 ・ 再生粒度調整砕石、G
・ クラッシュ鉄鋼スラグ、G ・ 粒度調整鉄鋼スラグ、G ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ、G
舗装の鋼製 ・ 図示 ・
開粒度75μm混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・

年度

設計年月

工事名

R.5

建築士法第20条第1項に基づく表示

図面名称

改修特記仕様書（その7）

縮尺

No. _____

